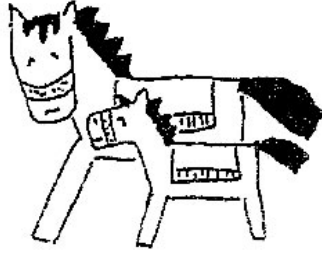


♪
お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポッキリ、ポッキリと

令和2年 2月 NO.303



〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://oumanooyako.sakura.ne.jp/>

(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～		2月の主な活動		～お気軽にどうぞ～
2月 7日 21日	金	うたうたい「カラヴィンカ」 18:00～20:00	「ペチカ」「浜千鳥」をうたいます。 なつかしいうたをうたってみませんか？	
2月 12日	水	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	放課後デイサービス「きらり」の 児童支援員木内雅登氏より話を 聞いて、フリートークしましょう。	
2月 15日 22日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスにはいって いっしょにあそびましょう。	
2月 15日	土	絵本と小物づくり 14:00～16:00	紙ひも工芸は今回で最後ですが 花ピンをつくりますので、どなたでも どうぞ。(材料準備のため予約要2/10まで)	
2月 26日	水	健康・育児相談 14:30～15:00	園医師(小児科)にゆっくり相談できます。	
2月 28日	金	おはなしの会 10:00～12:00	「絵本であそぼう!」をテーマに 大型絵本や手あそびもあります。	

・火～土の9:00～18:00までは、園内開放して
いますので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談(月～土)9:00～18:00
しつけや子育てについての悩み、保育園生活
入園・見学についての相談もどうぞ。

香川県高松市御坊町2-2
高松保育園 地域子育て支援センター



金子みすゞ全集⑤
「さみしい王女・上」より

小さい女の子と男の子
赤いビラが散った、
青いビラが散った、
春の日の街に。
小さい女の子が
拾った、
赤いビラ折った、
赤いビラ折って、
石ころに着せて、
ねんころりとうた。
子守唄とうた。
小さい男の子が
拾った、
青いビラ持った、
青いビラ持って、
お家まで駆けて(か)けて、
電報、電報と
力一ぱいどなった。



男性保育士の役割

千葉市のプラン 論争の発端

今年1月、千葉市が「男性保育士活躍推進プラン」を策定、市内全ての公立保育所で、女児の着替えや排せつを男性保育士にも担当させることを明記した。同市内ではそれまで、女児の着替えを男性保育士にさせない保育所もあった。同市のプランに対して賛否両論の意見が市に寄せられ、ネット上でも論争となった。

保育士は1999年に「保母」から「保育士」に名称が統一され、2003年から国家資格となった。男性保育士は16年4月現在で6万3837人が登録し、06年に比べ3倍以上に増えた。ただし保育士全体に占める男性割合は4.61%と、極めて少ない。

男性の存在 多様な価値

東京男性保育者連絡会事務局長 山本慎介氏

保育所に男子保育士がいる意味は、主に二つある。まず子どもたちが、生活空間に男女がいることを認識し、多様な価値観に触れること。また男性が生活介助をしたり絵本を読んだりすることで、子育てを男子が担うのは当たり前のことだと、体験すること。

保育士の仕事に、性別はあまり関係がない。一方、父親が保護者会に参加しやすくなる、子育ての相談をしやすくなるなど、保護者にとっては、保育士の性別は意味がある。

東京都内で私立の認可保育所を運営している。常勤保育士20人のうち5人が男性だ。女児の保護者が「おむつ交換を男性に任せるのは不安だ」という声は、確かにある。そんな時は、おむつ交換は子どもの健康状態をチェックするだけでなく、表情を見ながら子どもとコミュニケーションを取り、信頼関係や愛着関係を築く、保育の大切な仕事だと説明している。

ただ保育現場では、保護者からそういった不安を伝えられると、すぐに男性を担当から外してしまいがちだ。また男性には0歳児クラスを担当させない、力仕事や体を動かす保育など「男らしい仕事」をすべきだ、といった考えが残っている。男女にかかわらず社会で活躍するのを支える保育所で、そういった性別役割意識が根強いのは、問題だと思う。

とはいえ、保護者は保育士が保育する姿を見ることができず、保育士による虐待や性的犯罪など事件の報道もあり、不安を抱くのも無理はない。保育所は保育内容をできるだけ見えるようにし、園の考え方を積極的に伝えるべきだ。

運営する保育所では先月、ホームページに「乳幼児の犯罪被害防止についての方針と実施内容」を公開した。保育所内に死角を設けない、子どもが成長に伴い異性の生活介助に抵抗感を訴えたら同性が介助するなどの方針を明示し、保育士やスタッフにも徹底した。

今回の男性保育士論争から浮かび上がったのは、保育士の専門性が理解されておらず、社会的地位が低いということだ。保育士の低賃金と保育士不足にも通じる課題で、保育士や保育所の自助努力だけでは解決できないと感じる。

私が事務局長を勤める東京男性保育者連絡会は多くの男性が参加しており、勉強会などを通じて専門性を高める努力をしている。保育の仕事への情熱に男女差はないことを、改めて強調したい。

不安 意思疎通で和らぐ

タレント 坂下千里子氏

現在小学2年になる長女を、0歳から保育所に通わせました。男性保育士が多い保育所で、担任だったことも何度かあったため、男性保育士が娘のおむつ替えやシャワーなどの面倒をみることに、それほど違和感はありませんでした。職業としてやっている先生だから任せて当然、という気持ちだったと思います。

ただ、不安を感じる保護者の気持ちもよく分かります。性的犯罪への不安は



もちろん、子どもの羞恥心を保育所側がどれくらい分かっているのか、ということではないでしょうか。

娘はトイレトレーニングをする幼児期に、保育所でトイレに行きたがらないことがありました。担任の先生は男性でした。うんちの後、先生に助けてもらったのが、恥ずかしかったのではないかと思います。

私も自分が幼い頃、同じような気持ちを抱いたことがあります。幼稚園のプールに入る時、水着ではなくパンツ1枚で、上半身裸だったのです。5歳でしたが、すごく嫌だった。保護者からすれば、子どものそういった気持ちを酌んでほしいという思いはあるはずです。

では、保育所に男性の保育士はいらないのかというと、そうではありません。社会には男女それぞれいるのに、保育所だけ女性ばかりというのは不自然です。日々の保育や行事の際などに、男性保育士がいてくれて頼もしいな、と思う場面は多々ありました。

大切なのは、保護者と保育所の信頼関係です。保育所側が性的犯罪を防ぎ、子どもの羞恥心や気持ちに寄り添う取り組みをしているなら、それを保護者に説明し、見えるようにしてほしい。保護者も不安や疑問点があれば、どんどん保育所・保育士に聞いてみてはどうでしょう。

実は娘が0歳の時に、保育の安全に関する事で保育所と激しくやり取りしたことがあります。最初は不信感ばかりでしたが、面と向かって話すことで、わだかまりがなくなった経験があります。

信頼関係を築くのは難しいことですが、コミュニケーションをしっかりとって、お互いが歩み寄ることが大切です。

娘が卒園する時、ある男性保育士が「あなたはここが成長しました」などと書いた、長い手紙を下さいました。その先生は日ごろあまり話さない方でしたが、心の中はとても熱いのだと感じ、うれしかったのを覚えています。

讀賣新聞 (2017年3月3日)

